

“スモールコンセプション”とは
廃校等の空き施設や、地方公共団体が所有する古民家等の空き家について、民間事業者の創意工夫を最大限にいかした小規模な官民連携事業を行うことにより、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取組。

城下小宿荘や（津山市）
伝建地区に立地する寄附された町家群を宿泊施設として整備・運営し、地域経済を活性化



写真提供：津山市

THE 610 BASE（福知山市）
廃校をいちご摘み体験ができる農園やカフェ等として活用し、地域の賑わいを再生



写真提供：福知山市

官民連携プラットフォーム

- 産官学金等の多様な主体が参加・連携する「スモールコンセプションプラットフォーム」等を活用し、首長への働きかけや案件形成に向けた官民対話、ノウハウの習得のための研修や官民交流イベント等を令和7年度中に実施。
- スモールコンセプションプラットフォームには、令和8年3月末現在、1440の会員が加入。

官民交流

- プレゼンテーションや情報共有・意見交換の機会を設け、会員相互の交流を促進



首長への働きかけ

- 首長会議において、首長自身が取組を発信することで、他自治体に官民連携の重要性を発信



セミナー・研修

- 官民双方からの解説により先進事例について解説することで、取組への理解を深める機会を創出

官民対話

- 自治体の具体的な案件をもとに民間事業者の意見を聞く場を創出

※一部事業については、地方ごとに設ける「地方ブロックプラットフォーム」において開催したものを含む。

スモールコンセプションに関する支援

スモールコンセプション形成推進事業

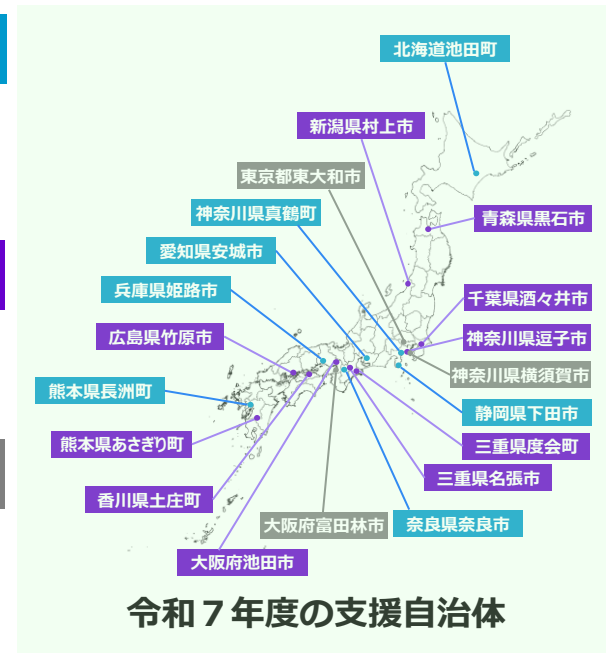
- 地方公共団体に専門家を派遣し、プロジェクトの初期段階の様々な課題をサポート

先導的官民連携支援事業

- スモールコンセプションの先導的事業の調査を行う地方公共団体に対して支援

民間提案型官民連携モデリング事業

- 地方公共団体のスモールコンセプションのニーズと合致した優良なシーズ提案を行った民間事業者による調査検討



スモールコンセプションの実践に向けた手引きの策定

地方公共団体等のスモールコンセプション取組を後押しするため、事業構想段階から公募・選定段階までのノウハウ等を盛り込んだ手引きを策定。

